

令和5年度 第2回グローバル教育推進委員会 次第

日時:令和6年2月6日(火) 9:30~12:00

場所:高知県教育センター 第10研修室

- 1 開会行事 9:30~9:35
 - ・教育委員会挨拶
 - ・委員紹介

- 2 協 議 9:35~11:55
 - (1) 高知県のグローバル人材の育成について
 - (2) 各学校の取組について
 - ①室戸高等学校
 - ②清水高等学校
 - ③高知国際中学校・高等学校
 - ④山田高等学校

- 3 閉会行事 11:55~12:00

【配付資料】

- ・次第
- ・出席者名簿
- ・協議資料
 - 資料1、2 県教育委員会事務局資料
 - 資料3~8 各学校資料
- ・参考資料
 - 室戸高等学校
 - 清水高等学校
 - 令和5年度第1回グローバル教育推進委員会ご意見、ご助言まとめ

令和5年度第2回グローバル教育推進委員会
出席者名簿

委員

* 敬称省略、五十音順

所 属	役 職	氏 名
高知大学地域協働学部	准教授	石筒 覚
敬愛大学	英語教育開発センター長 国際学部国際学科教授	向後 秀明
高知県教育委員会事務局	教育次長	竹崎 実
国際バカロレア日本大使 東京インターナショナルスクール理事長		坪谷 ニュウエル 郁子
大阪大学	理事・副学長	山本 ベバリーアン

県立学校

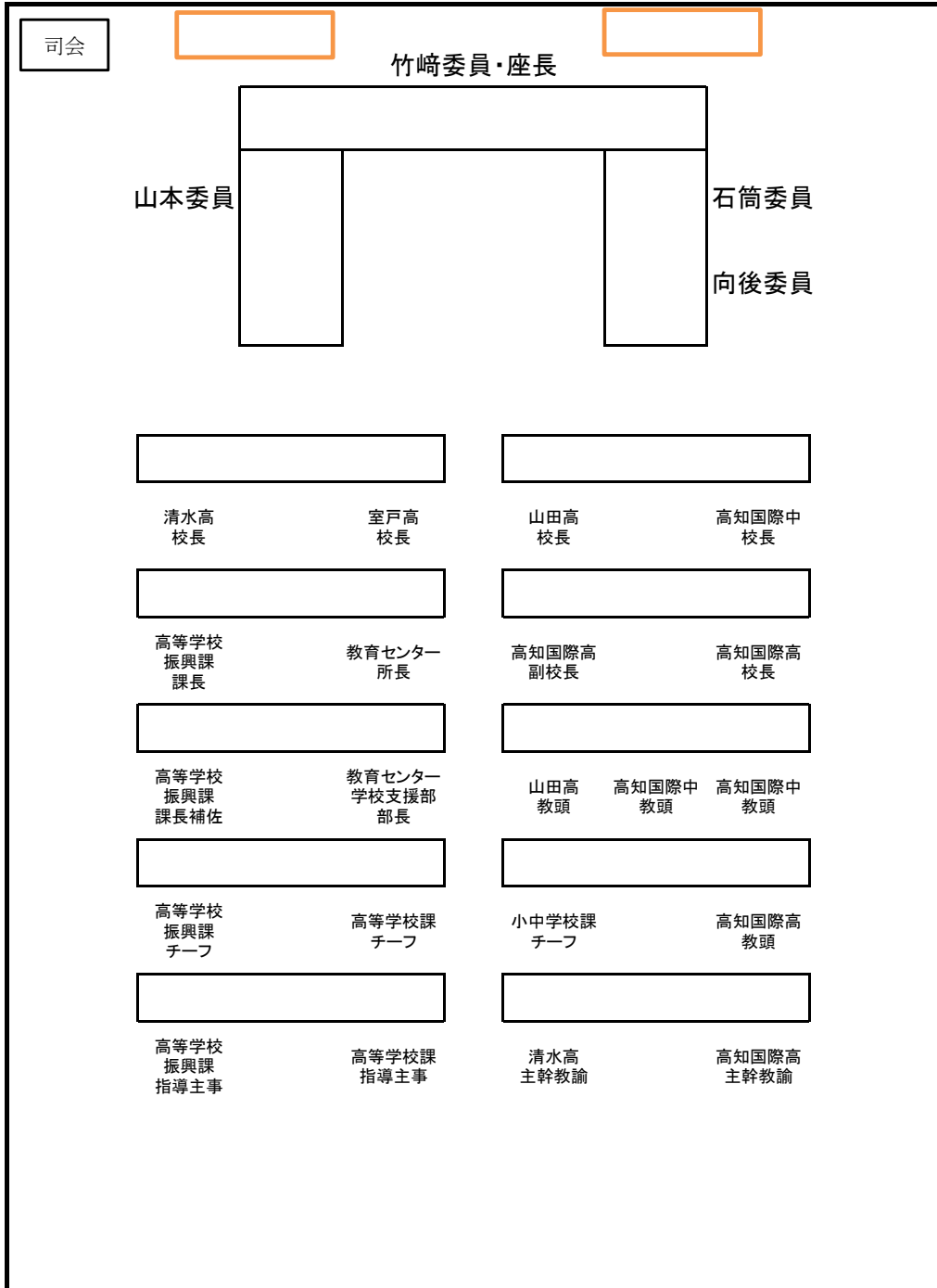
所 属	役 職	氏 名
山田高等学校	校長	市原 庸寛
	教頭	清水 明子
高知国際中学校	校長	片岡 真希
	教頭	伊芸 美紀
高知国際高等学校	校長	高野 和幸
	副校長	麻植 隆久
	主幹教諭	石丸 右京
室戸高等学校	校長	今井 康浩
清水高等学校	校長	田中 修一
	主幹教諭	南 友博

教育委員会事務局

所 属	役 職	氏 名
高知県教育センター	所長	刈谷 直文
	学校支援部長	上岡 美保
小中学校課	チーフ（ICT活用教育支援担当）	田所 久仁夫
高等学校課	チーフ（学校教育支援担当）	戎井 崇
	指導主事	下司 哲也
高等学校振興課	課長	野田 健一
	課長補佐	長岡 潤司
	チーフ（振興担当）	中越 啓介
	指導主事	籠尾 悦子

令和5年度第2回グローバル教育推進委員会 座席表

令和6年2月6日(火)9:30~12:00 高知県教育センター 第10研修室



高知の魅力発信グローバル人材育成事業

高知県教育振興基本計画
基本理念

- ・ 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたち
- ・ 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人材

求める
資質・能力

日本人のアイデンティティの形成、語学力、コミュニケーション能力、
チャレンジ精神、協調性、柔軟性、異文化理解、課題発見・解決能力等
〈出典〉「グローバル人材育成推進会議審議会まとめ」（2012年6月）

指定地域 東部（香美市）…大宮小・香北中・山田高校 中部（南国市）…日章小・大湊小・香南中・岡豊高校
西部（土佐清水市）…清水小・清水中・清水高校 高知市…義務教育学校土佐山学舎・高知商業高校

1学
期

「授業づくり講座」

いつでも、どこでも、だれでも 学べる場へ～

【公開】

教材研究会・授業研究会（1セット）



- ◆ 学習指導要領が目指す授業づくり
- ◆ 日常的に授業研究に取り組む風土づくり
- ◆ 自ら学び続け、共に高め合う教員の育成

10～11
月

「小・中・高合同授業研究会」

中・高等学校における一貫した英語による
コミュニケーション能力の育成～

【公開】

授業研究会

【目的】

- ◆ 児童・生徒の発信力強化
- ◆ 領域統合型の言語活動の充実
- ◆ 目標・内容・指導方法における学びの接続



12月

「Discover Kochi Project」

～グローバルな視野をもち、英語で自分の意見を
発信することができる人材の育成～

【公開】

拠点校によるポスターセッション

【目的】

- ◆ 地域版「Discover Kochi」の取組を
通して、課題解決型（教科横断的）テーマ
による学習を推進
- ◆ 他のグループとの即興的なやり取り
（対話を継続する力の育成）



- ◆ 各校の取組を動画（YouTube）にて発信（各地域の魅力を世界へ）

ICTの効果的な活用

- ◆ 1人1台端末等を活用した授業づくりの提案



Goal

地域で一体となった英語教育の推進

- 12年間の学びのつながりを意識した教科経営が推進される。（カリキュラム・マネジメント） ● 主体的に学び続ける態度と総合的な英語力の育成。

異文化体験や同世代の外国人との相互コミュニケーション等の国際交流を通じて、多様な価値観に触れることや国際理解を促すことで、高知から世界へチャレンジする次世代のグローバル人材を育成する。

令和5年度の実施内容

1 地域と連携した「英語キャンプ」の実施

◆県内の中山間地域の高等学校を会場として、県内留学生や外国人指導助手（ALT）等との交流を通して、小学校、中学校、高等学校の児童・生徒の異文化理解や英語への興味・関心を高めるとともに、英語による発信力の育成に取り組む。

◆【会場】室戸高等学校（8月25日実施）参加児童生徒数 18人
清水高等学校（11月18日実施）参加児童生徒数 29人
額北高等学校（12月23日実施）参加児童生徒数 23人

2 県海外派遣プログラムの実施（7月30日～8月13日）

（R2年度～R4年度中止）

◆フィリピンセブ島にて語学研修
公立高等学校7校 18人参加

3 留学フェア2023の実施（10月29日）

◆海外留学支援制度や海外大学進学、海外展開している県内企業で求められるグローバル人材などについての講演や、県海外派遣プログラム参加者及び高知県全羅南道学生交流プログラム参加者の体験発表等

4 講演会の実施（8月30日）

◆養老孟司氏と藻谷浩介氏を招き、「世界で活躍するために本当に求められる力とは何か」についての教育談義や講演、生徒との意見交換等
参加者 917人

<参加生徒の声>

●英語キャンプ

- ・初めて留学生と会話してとても楽しかったし、クイズやプレゼン、自己紹介もできて良かった。いろいろなお気に入りのものが知れておもしろかった。また英語キャンプに参加したい。
- ・実際にたくさんの人と会ってはじめてうまく話せるかと緊張していたけど、皆さん親切にしてくださりゲームやクイズなどプレゼンも楽しく行うことができた。英語に少し自身もついたので、英語キャンプに参加して良かったと思った。

●県海外派遣プログラム

- 【派遣プログラムを経験し、どのようなことができるようになったか】
- ・英語力の向上、広い視野で物事を捉えるようになった。外国人と積極的にコミュニケーションが取れるようになった。多少自分の言っていることが通じなくても、ジェスチャーや他の言葉に言い換えて伝えようとすることができた。自ら挑戦し、そこから学ぶことができるようになった。自分に自信を持つことができるようになった。自分の意見を躊躇せずに伝えられるようになった。

●留学フェア

- ・高校生の留学体験話も良かったが、実際に海外大学に進学した方の話などもう少し大学の話も聞きたかった。内容がとても面白かった。
- ・体験談や留学情報を聞いて良かった。留学に行きたいと思った。

●講演会

- ・内容も面白く、引き込まれるものがあり、楽しい時間を過ごすことができた。また、日常生活においても、学問を学ぶにおいても重要な考え方を学ぶことの再認識が出来たので、良い講演だと思った。
- ・養老先生も藻谷先生も共通して仰っていた、とにかくやってみるということが大切だと感じた。何かを始めることにキッカケなんて、理由なんて必要ない、ただしてみたいという好奇心に従うことが成功への一歩だと思う。

	R1	R2	R3	R4	R5
県主催海外留学支援	20名	0名	0名	0名	18名
留学フェア	86名	52名	25名	41名	53名
国際交流促進事業(学校プログラム)	30名	0名	0名	0名	0名